

とねりこ 89

知的障害者施設 いみず苑広報誌

笑顔がはじける Let's dance!

—第29回 いみず苑祭—



発行

社会福祉法人 射水福祉会 いみず苑・いみず苑保護者会

〒933-0252 富山県射水市七美727 TEL 0766-86-1126 FAX 0766-86-1136 <http://www.imizuen.jp/>

「とねりこ」 かつて射水平野の水田の畦道に植えられていたこの木は、湿地を好み強い風にも倒れないことから、刈り取った稲を干す稲架（はさぎ）に利用されていました。

活気に
満ちた!

第29回 いみず苑祭



ステージ

いみず苑バンド ザ・コリネットの皆さん



最高のオープニングから始まりました。

射水市立七美幼稚園



元気いっぱいの可愛いステージでした!

射水市立東明小学校 手品クラブ



驚きの連続で、拍手が沸き上がりました。

職員によるふれあいステージ



しっとりしたピアノ演奏と華麗な舞。そして“気志團”となった職員によるワンナイトカーニバル! 会場はお祭り騒ぎでした。



DANCE STUDIO DEEP



ダンスを通じて、会場が一体に。
ステージに登った人も座っている人も自然と身体が動いていました。



小泉こうのすけ



素敵なギターのエッジで、多くの
皆さんが聞き入ってしまいました。

射水市立射北中学校



大迫力の演奏が続くステージに、会場が大盛り上がりでした。

名司会の利用者の皆さん!



11月10日、今年のいみず苑祭は天候にも恵まれて盛大に開催することができました！
 ステージでは手品、ギター弾き語り、ダンスなど様々なパフォーマンスが繰り広げられ、会場は素敵な笑顔で溢れていました。
 模擬店コーナーでは、多くの方にご協力をいただき、様々な模擬店が顔を揃えました。
 たくさんの方にご来場いただき、地域の交流の輪がさらに広がったと感じる1日でした。そして、今回のいみず苑祭が皆さんの楽しかった思い出として記憶に残るものになったら、嬉しく思います。

模擬店

チキンナゲットやどんどん焼き、
 きつねうどん、新湊名物かけ中、
 ケーキセットなどを販売しました。

ゲームコーナー



どんどん焼きコーナー



射水市商工会議所青年部の皆さん



学生ボランティアの皆さん

うどん、新湊名物かけ中コーナー



射水青年会議所の皆さん



七美ボランティア協議会の皆さん

さつまいもの天ぷらコーナー



新湊中央ロータリークラブ
 の皆さん

会長の山本様より、チャ
 リティーの収益金をご寄
 贈いただきました



会場はたくさんの笑顔で溢れました



ご 芳 志
 ありがとう
 ございました

- 七美連合自治会
- 株式会社 四方組
- 射水市手をつなぐ育成会
- 分家静男
- 金瀬隆

- 中川由紀子
- 堺進
- 株式会社フジノ電設工業
- 総合設備宮島
- 新湊ボランティア連絡協議会

- クレハ事務機販売株式会社
- 新湊中央ロータリークラブ
- 株式会社セイアグリーシステム
- 射水市市長
- 一般社団法人 富山県手をつなぐ育成会
(順不同・敬称略)

秋旅 日帰り旅行に行ってきました

📍 トレインパーク白山

北陸新幹線が目の前を走り抜ける！



📍 上越市立水族博物館

360度アクリルガラスの海中トンネル



オプション旅行
きときと空港



📍 クロスランド小矢部



秋の味覚に舌鼓！
～グルメを堪能～

祝

二十歳を祝う会

今年は新たに2名の方が
二十歳を迎えられました。
おめでとうございます。



はばたき 前田 愁太 さん

二十歳の夢・希望

- 仕事を頑張って(工賃を貯めて)、家族と国技館(大相撲)に行きたいです。



ひだまり 田島 健寛 さん

二十歳の夢・希望

- 苑祭や成人を祝う会など、多くの人の前でドラムをたたけるようになります。
- 将来は「河村カースケ智康さん」のようなドラマーになりたい!



令和7年1月16日(木)、「二十歳を祝う会」を開催しました。

小さいころや学生時代の写真の上映、思い出の振り返り、所属する事業所からのビデオレターや皆からの歌のプレゼントなどで、二十歳の新たな門出をお祝いしました。



明日があるさ 明日がある
若いふたりには夢がある
いつかきっと いつかきっと
叶えられるだろう



行事アラカルト



新湊ライオンズクラブ交流会

今年は天候に恵まれ、新湊ライオンズクラブの皆様と合同清掃活動を行いました。力を合わせて地域をきれいにしました。



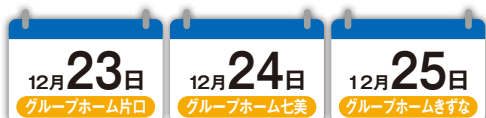
ボランティアふれあい交流鍋祭り

富山県共同募金会から「NHK歳末たすけあい助成」を受け、ボランティアふれあい交流鍋祭りを行いました。日頃お世話になっている地域ボランティア等の皆様と鍋を交え、心と体が温まりました。



もちつき大会

七美ボランティア協議会の皆様にご協力いただき、中央ホールでもちつき大会を行いました。



グループホーム会食会

富山県共同募金会から「NHK歳末たすけあい助成」を受け、それぞれのグループホームで会食会を行いました。豪華な食事とケーキを囲い、楽しく温かい時間を過ごしました。





福祉のこころを育てる

～人材の確保と育成を考える

－前編 実習生を受け入れる取組－

近年、福祉人材の確保は社会的に喫緊の課題となっています。当法人においても、様々なサービスの提供やサービスの質の向上のために、人材の確保・育成が重要な課題の1つとなっています。

「福祉のこころを育てる」では、そんな課題に挑む射水福祉会の取組を紹介していきます。前編は実習生の受入についての紹介です。

✓ 11月に10日間、通所センターさんがで実習を行った学生さんに感想を聞きました

10日間の実習で印象に残っていることは、利用者の方が笑顔で楽しく活動されていたことです。地域の公園清掃へ一緒に行ったとき、とても楽しそうに活動されていて、達成感ややりがいを感じている姿がうかがえました。初めての施設実習で不安もありましたが、とても楽しく充実した実習にすることができました。

富山国際大学 子ども育成学部2年 海野 凜々子さん



利用者との作業風景です。利用者と同じ目線で、共に喜びや楽しみをわかちあうことが福祉のスタートです。作業をきっかけに、少しずつ学生と利用者が関わり合う姿が増えていきます。

✓ 実習生から射水福祉会に入職した職員に聞きました

実習の中で、利用者の皆さんと職員の方々が楽しそうに過ごされる姿を見て、互いが笑顔になれる素敵な施設だと感じ入職しました。また、職員の方々が細かく丁寧に教えてくださったこともここで働きたいと思うきっかけになりました。

「ひびき愛」生活支援員 白崎 佐保（令和6年度入職）

私は実習に行くまで障害のある方と関わったことがなく、“怖い”という気持ちがありました。実際に利用者さんと関わり、共に作業をしていく中で、その人の個性や楽しさ、優しさを感じることができ、今までで一番楽しいと感じた実習になったことが入職した理由です。

「ひびき愛」生活支援員 長徳 碧乃（令和6年度入職）



障害者支援施設実習に不安を感じる実習生も多いです。実習期間を通して、不安や先入観をとることができるよう心掛けています。何より、この仕事の楽しさを伝えることができたらと思っています。

✓ 実習受入担当者に、配慮していることなどを聞きました

「自分が良いと思うことをどんどんしてほしい」実習初日に伝えている言葉です。実習期間中は「知的障害者の特性」、「事業所における支援の実際」、「コミュニケーションの図り方」について理解を深め、利用者の承認欲求を満たすための工夫を学んでもらっています。

知的障害のある方との初めての交流の場において、学生さんには利用者と積極的に関わり、多くの達成感を感じてほしいと願っています。

「通所センターさんが」サービス管理責任者 塚本 智里



「利用者が取り組む個別課題の作成にチャレンジしてもらいました。その人の得意・不得意、持っている力ややりがいなど実習で学んだことを活かして、共に楽しみながら作ってもらいました。」

POINT

施設実習は、知的障害について知ってもらい、人を相手にする仕事とは何かを体験し、自分はその仕事ができるかを考えてもらう、言わば福祉の入口だと考えます。

実習を通して「ここで働いてみたい」、「この仕事をしてみたい」というきっかけを作ることができれば、これから共に働ける仲間が増えていくのではと感じています。

福祉のこころを育む手助けをすることが、人材の確保に繋がっていくと考えています。

あいネット通信♪

R6年度あいネットいみず福祉セミナー

令和6年11月24日(日)

青山学院大学教育人間科学部 古荘 純一教授をお招きし、『軽度知的障害と境界知能』をテーマにご講演いただきました。

福祉関係機関、教育機関、司法関係機関等の様々な専門職の方や地域の民生委員等、74名の方が参加され、大変学びの多い1日となりました。

人口の14%の人(7人に1人)がIQ71以上85未満の境界知能と言われています。

講演では、軽度知的障害と境界知能の類似点や公の支援になかなか繋がらない、生き辛さを抱える方々にとって、どんな支援があったら良いのか、どんなことを支援者は心がけた方が良いか等、事例なども交えながらお話がありました。

生き辛さを抱えている人に対しては、周囲の人が気づくことから理解と配慮がスタートします。支援者にとっても、今後何ができるかを考える良い機会になりました。



スポーツ大会

令和6年9月29日(日)

ひだまり軽運動訓練室で秋のスポーツ大会を開催しました。

地域の元気いっ

ぱいな子どもたちやボランティアの方、学生等、39名の方が参加され、会場は熱気に満ち溢れていました。

射水市社会体育指導員 蒲原 達也 氏から3つのニュースポーツの紹介があり、実際に体験しながら、最後はボッチャで対戦をしました。応援の掛け声やハイタッチ等で盛り上がる場面も多く、皆さん楽しい時間を過ごされました。

地域活動支援センターは、障がいのある方の居場所としての活動を提供していますが、年齢や障がいのあるなしに関わらず、誰もが気軽に楽しめるイベントを通して、人と人が繋がり合える機会を増やしていきたいと思っています。またイベントのボランティアも随時募集中です。興味のある方はご連絡ください。



あいネットいみず(射水市障害者地域活動支援センター)

あいネットいみずでは、障がい(身体・知的・精神)のある方やその関係者の方々の相談に応じ、必要な情報を提供しています。

..... あいネットいみず(射水市七美727 いみず苑内)

専用TEL (0766)86-8522 FAX 86-8530 Eメール info@inet-imizu.jp ホームページ <http://www.imizuen.jp/inet/>

カラフルスマイル

彩り豊かないみず苑の職員を紹介するコーナー!



- ①入社年 ②趣味 ③特技
④仕事で楽しい、嬉しいと感じる時
⑤いみず苑の好きな所
⑥皆さんに一言!

山本 美佳
(かがやき)



- ①平成29年
②旅すること
③モノマネ
④利用者の皆さんとチームで仕事をしているとき
⑤ボランティアに快く送り出してもらえたところ
⑥今年もよい一年にしましょう。

田中 康彦
(なごみ)



- ①平成7年
②映画鑑賞、ライブを観に行く、ハンドボール観戦(アランマーレを応援しています)
③雑談、「よくそんなこと覚えているね」って言われます。
④支援者が力を合わせて良い支援ができた時
⑤過去2回の新型コロナウイルスのクラスター発生のような困難等を乗り越え、苦楽を共にしてきた仲間たちがいること。
⑥入職以来、29年が経過しましたが、これからも皆さんとともに年数を重ねていけたらと思います。

保護者のつとめ

「笑顔のある毎日に感謝」

小櫻めぐみさん

「明日のお昼は何？」時々、息子の啓太郎に苑での献立を尋ねる。「ラーメン！」これは大好き。「春巻き」苦手なメニューの日は、一口も食べてこない。夕飯は何がいいだろう。こんなことを気に掛けていられる日々は、私にとって平穩そのものだ。

「ひだまり」にお世話になって3年目。当初はそうではなかった。

細かいことが気になる息子。「物の位置」、「耳に入る会話」、「目から入る情報」何でも気になる。さらにこだわる。さぞ疲れる毎日だろう。この「こだわり」が職員の方への無理難題要求に繋がる。

言葉を話さない息子から、その思いを汲み取るのは、なかなか時間がかかる。「そうじゃない！」とばかりにパニックになることもある。その度に、本当に申し訳ない気持ちになる。「いつまで通えるだろうか」と不安にもなる。

苑ではまた同じ状況にならないようにと、すぐに対応策を考えてくださる。この安心感は何と表現したらよいだろう。

機嫌の良い時もある。それは、大好きなアニメが話題になる時。「一休さん」、「クレヨンし

んちゃん」あたりがブーム。

現在、毎朝の日課確認、落ち着ける作業スペースの確保、ご褒美アニメシール…

たくさんのご配慮をいただきながら通っている。

自分なりの楽しみも見つけたようだ。朝、ニコニコで出発を急かされるたびに思う。こちらまで幸せな気持ちになる。

啓太郎を支えていただくことは、私たち家族を支えていただくことだとつくづく思う。

毎日、息子の笑顔が見られる。こんな日常が1日でも長く続くことを心から願っている。

いみず苑の職員の皆さま、いつもありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願い致します。



小櫻 啓太郎さん



保護者会コラム

令和6年9月28日

「手をつなぐ育成会 東海北陸大会 岐阜大会に参加して」 保護者会 須藤 功

令和6年9月28日、岐阜県羽島市で開催され、富山県手をつなぐ育成会から17名の一行として参加しました。

大会のスローガンは『「その時」共にできること～今こそ見つめなおそう 仲間との絆～』でした。

シンポジウムは「災害時にできること」をテーマに2時間程の発表がありました。石川県手をつなぐ育成会会長から、能登半島地震、岐阜大会の開催直前に起きた奥能登豪雨災害の現況報告と奥能登にある二か所のグループホームが果たした役割について報告がありました。あまりにもリアルな報告、二重被害に遭われた方々の悲惨な状況に胸が痛みました。次に厚生労働省 発達障害施策調整官から現地対策を含めた今後の活動について話があり、最後は障害者による大会宣言で終了しました。



四季を通じて～田中農産の皆さんとのつながり

田中農産の皆さんと農業を通したきずなが生まれました。ご協力ありがとうございました。



春 ～田植え～



秋 ～稲刈り～



秋 ～サツマイモ掘り～

ボランティア ありがとうございました

- 新湊理容師会（理髪）
- 訪問理美容サービス「フロール」（美容）
- 大島赤十字奉仕団（シーツ交換）
- 新湊ボランティア連絡協議会
塚原地区 放生津地区 新湊地区 作道地区
片口地区 堀岡地区 本江地区 の皆様
（シーツ交換）

（敬称略）

ご寄付・ご寄贈 ありがとうございました

- 片口社会福祉協議会
- 新湊ボランティア連絡協議会 堀岡地区
- 新湊ボランティア連絡協議会 作道地区 すみれ会
- 野澤 伸子
- 七美花と緑の銀行
- 大島赤十字奉仕団
- 新湊中央赤十字奉仕団
- （一社）富山県食品産業協会
- 富山県共同募金会
- 田中農産
- （公社）富山県善意銀行
- やの園

（順不同・敬称略）

苑の行事予定

令和7年1月現在

4月 入所式、花見、健康診断

5月 避難訓練

編集後記

今号と次号では「人材確保と育成」についての取組を紹介します。福祉人材不足は社会的な課題とされていますが、当法人においても採用希望者は多いとはいえず、人材確保は大きな課題となっています。要因は多々あると思いますが、まずは若い世代にこの仕事の魅力や楽しさ、やりがいなどを発信し、「知ってもらうこと」が必要だと感じています。広報誌「とねりこ」はその一端を担っていると思います。読んだ人が、少しでも興味を持っていただけるよう努めていきたいです。トネリコの木に咲く花は、春の訪れを告げる花といわれ、白色の小さな花が多数咲くそうです。春号の「とねりこ」の紙面にも、たくさんの新しい花々が咲いていますように。

（真田章太郎 記）

当法人における苦情相談受付窓口 当法人における虐待防止に関する相談窓口

窓口担当者 総務課長、サービス管理責任者

ご利用期間 8：30～17：15
（日曜、祭日、年末年始を除く）

T E L 0766-86-1126

F A X 0766-86-1136

※担当者が不在の時は事業所事務所までお申し出ください。